

## 地球惑星科学委員会 IUGS 分科会（第 24 期第 4 回）議事録

出席：大久保、木村、北里、斎藤、谷口、佃、西、益田、渡辺

欠席：奥村、中田、宮崎

1. 会場：日本学術会議 6 階 6-A (2) 会議室
2. 日時：令和元年 6 月 18 日（火）15:00～18:00
3. 議事次第
  1. 前回議事録の確認  
前回の議事録を承認した。
  2. 予算に関する説明  
予算に関して残額の説明があった。予算上は、もう 1 回開催できる可能性があることがわかった。
  3. IUGS Executive Committee Meeting 報告（資料 5 参照）  
重要な点として、1) 来年インドで IGC が開催されるのでそれをサポートする、2) 新たな DDE (Deep Digital Earth) プロジェクトを推進する、が挙げられる。2) に関しては、中国の京コンピューターに地質学的な情報をすべて集めるという計画である。いまのところ、イギリスは参加する予定で、ドイツは参加しない。さらに、IUGS の会計に関して北里委員から説明があった。健全な経営が行われていることが示された。
  4. IUGS 委員候補者の推薦に関して  
北里洋委員を本分科会から推薦することになった。締め切りは 7 月 30 日となっている。
  5. Geohazard Task Group 活動報告（資料 3 参照）  
資料通りに活動報告があった。特に、SiDRR に関して補足説明があった。来年の 5 月にシンポジウムを開催したい旨、報告があった。海外からも参加予定で学術会議の承認が必要とされる。そのとき、津波調査ガイドライン（論文）の出版が重要であるとの指摘がなされた。
  6. 年次報告に関して  
年次報告を 7 月 19 日までに作成する必要があるため、6 月末までに各委員長に提出してもらうように依頼した。近年、学術会議の評価が厳格になっているので、各小委員会の委員長の皆様には、活動報告を必ず提出

していただくことが委員長から喚起された。

7. ICS-SQS 活動報告

チバニアンに関する現状報告があった。今回の問題に関して、今後議論を進める必要があることが指摘された、また、ジオパークのあり方についても議論があった。

8. 各小委員会からの報告事項および活動方針

各小委員会からの報告があった（資料参照）。IAH に関しては谷口委員、IAGG は益田委員、IGCP は斎藤委員、それ以外は委員長から報告された。

9. その他

- 1) ジオパークに関する「記録」を作成するため、小委員会等をつくることを目指すことが承認された。担当は渡辺委員にお願いすることになった。
- 2) IGC に参加する会議参加者（8人）のリストをつくる必要性がある。
- 3) 次回は9月から10月に開催する予定である。